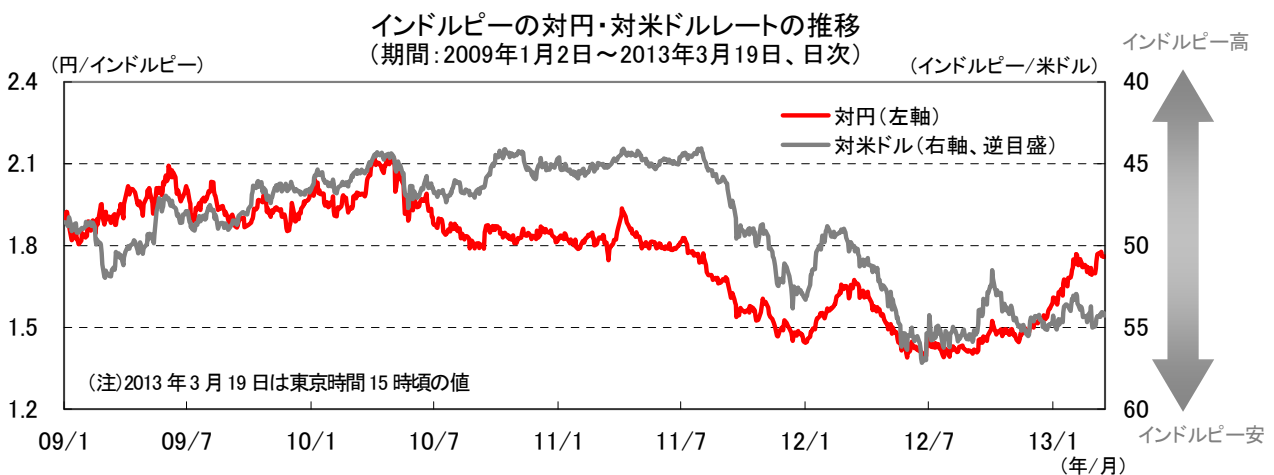
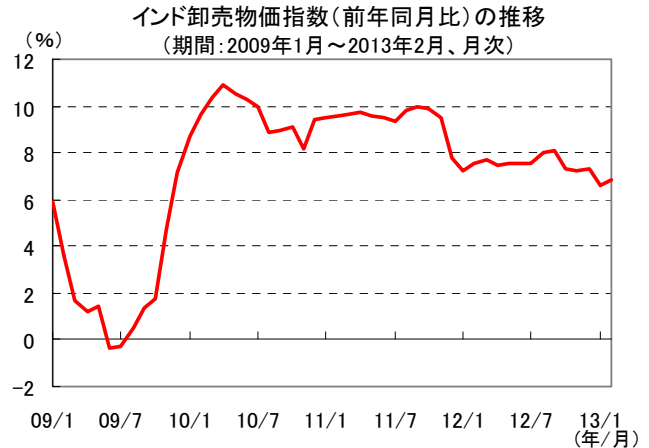
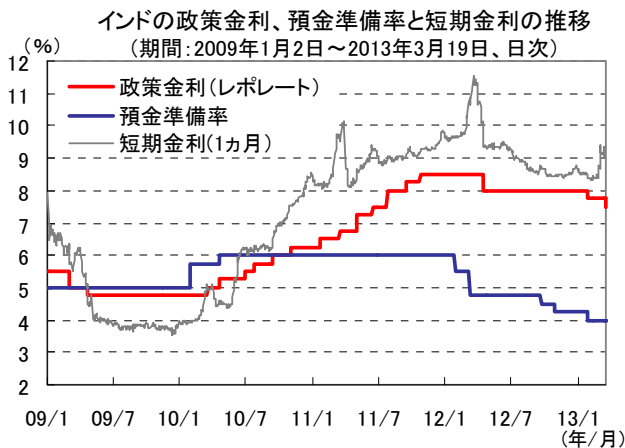


### 3月19日発表のインドの政策金利の引き下げについて

インド準備銀行(中央銀行)は3月19日に開催された金融政策決定会合で、政策金利であるレポレート(中央銀行が市中銀行に資金供給を行なう際の金利)を0.25%引き下げ、年率7.50%とすることを決定しました。1月に開催された前回会合に続く利下げとなります。

同中銀が利下げに踏み切った背景には、同国の経済成長の鈍化が挙げられます。2012年10-12月期の実質GDP(国内総生産)成長率は前年同期比+4.5%と市場予想を下回って減速しました。2月のインフレ率(卸売物価指数)は+6.8%と前月を上回ったものの、食品を除いたコア・インフレ率は減速傾向が続いており、利下げは可能との判断があったものと見られます。ただし、同中銀は「更なる追加金融緩和の余地は極めて限定的」としています。

3月19日の金融市場(東京時間15時頃)では、S&P BSE SENSEXは前日比▲1.2%となり、インドルピーは対米ドルで同0.3%のルピー安、対円で0.1%のルピー高となりました。次回の金融政策決定会合は、5月3日に予定されています。



(出所)Bloomberg データより野村アセットマネジメント作成

以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。